

令和5年度 小豆島交通株式会社 運輸安全マネジメント

一、経営理念

【安全安心輸送と事故0目標】

「安全輸送」 =信頼される会社

「安心輸送」 =お客様へのサービス第一

「事故0目標」 =経営安定と我が社の根幹

二、安全方針

- 1、安全安心輸送は我々の使命、事業経営の根幹であることを意識する。
- 2、全社員一人ひとりが役割と使命を常に認識し、安全安心輸送に対する向上を意識する。
- 3、コンプライアンスを遵守し、信頼される会社であることを意識する。

私たちは、地域に密着し、信頼される会社を目指すには、安全輸送を行い、またお客様へのサービスを第一に考えて安心する輸送サービスを提供し、事故を限りなく“0”に近づけ経営の安定化と事故のない日常が、継続経営する根幹であると常に心掛けます。

三、輸送の安全に関する基本の方針

- 1、代表取締役及び取締役は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であると深く意識し、社内において、輸送の安全を確保するために指導を徹底して参ります。
- 2、代表取締役及び取締役は、現場における安全に関係する問題点を真摯に受け止め、現場の状況を把握し、最善策を講じます。
- 3、当社は、輸送の安全を確保するための計画をPDCAサイクルにして確実に実施し、全社員が一丸となって取り組むことにより、絶えず輸送の安全性を高めるよう努めます。
- 4、指導監督する立場である者の積極的に安全運転に関わるセミナーに参加し、知識と意識を高めて、事故防止の為に行動します。

四、令和5年 安全輸送目標

自損事故を最大限減少させるため、周囲確認を怠らず励行し、不安な時は、必ず下車して目視確認をすること。また、小さな事故は大きな事故の発端である事を常に意識し、安全運転が快適な運送サービスを提供し、安心な小豆島交通の経営安定の基礎であることも意識し、目標を達成しましょう。

- 【目標】
 - 有責事故 0 件
 - 人身事故 0 件
 - 自損事故（車両損傷事故） 5 件未満
 - 無事故日数 150 日

- 【対策】
 - 外部からの講師招聘によるセミナー
 - 無事故継続日数の掲示による意識向上と社長自ら社内報を発行
 - 事故当事者との個別面談
 - 運転士との事故防止策の討論会
 - 社長の職場巡視
 - 安全運転管理の為の設備投資
 - 医療用血圧測定機の導入
 - 衝突軽減装置装備車両の積極的導入
 - 敷地内事故防止

五、安全輸送に関する計画

1、運行管理・教育

- ① 運行管理者、補助者、乗務員に対して、年間教育計画に基づき教育および訓練を実施します
 - ② 始業点呼時において、血圧計を用いて健康状態を把握し、報告させます。
 - ③ 宿泊勤務時の点呼は、第三者によるアルコールチェックを行い報告させます。
 - ④ 始業、就業点呼および中間点呼において、適確な業務連絡と体調報告の徹底をいたします。
 - ⑤ 自動車事故対策機構が行う、運転者の運転適性・分析が可能な適正診断を定期的に受診し、その分析結果を用いて効果的な指導を実施いたします。
 - ⑥ ヒヤリ・ハットの教育を導入し、これにより事例の収集、分析を行い「ヒヤリ・ハット体験に基づく危険箇所教育」に反映させ、事故防止に活用します。また、緊急性のある事例については速やかに所内に掲示し、始業点呼時周知徹底いたします。
 - ⑩ 乗務員に対し、車両の特性に関する実地教育を実施し、事故防止に役立てます。
 - ⑪ 無事故を意識付ける為に、無事故継続日数の書き換えは、乗務員が行います。
 - ⑫ 事故当事者と個人面談と教育の実施。
 - ⑬ 年1回、各部門の運転士と事故防止策検討会の実施
- ##### 2、内部・外部監査
- ① 本社管理職による現場監査を行います。（年2回）
 - ② 社員ミーティングの実施。（年2回）

六、投資計画

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止のための施策費用（100万円）
- ② 大型バス洗車機老朽化に伴う代替え機購入（900万円）
- ③ 郵便輸送専用車両の老朽化に伴う代替え車両購入（600万円）

七、安全管理規定

- ① 安全管理規定・・・小豆島交通株式会社 安全管理規定 参照
- ② 安全統括管理者・・・小豆島交通株式会社 代表取締役 中村彰紀
- ③ 組織体制・指揮命令系統・・・小豆島交通株式会社 安全管理規定 別表1及び別表2

八、過去の安全運輸マネジメント評価

- ① 安全運輸マネジメント評価 参照

九、過去の安全に関する目標達成状況

年 度	目 標	結 果	達成状況
平成 26 年度	人身事故ゼロ	0 件	目標達成
	一旦停止・速度超過撲滅	0 件	目標達成
平成 27 年度	人身事故ゼロ	1 件	目標未達成
	自損事故	27 件	目標未達成
		軽微な車両損傷も含む	
平成 28 年度	有責・人身事故ゼロ	1 件	目標未達成
	自損事故ゼロ	13 件	目標未達成
	無事故継続日数	105 日	目標達成
平成 29 年度	有責事故 0 件	5 件	目標未達成
	人身事故 0 件	0 件	目標達成
	自損事故 10 件未満	10 件	目標未達成
	無事故継続日数 120 日	73 日	目標未達成
平成 30 年度	有責事故 0 件	0 件	目標達成
	人身事故 0 件	0 件	目標達成
	自損事故 10 件未満	17 件	目標未達成
	無事故継続日数 100 日	50 日	目標未達成
(令和 1 年度) 平成 31 年度	有責事故 0 件	0 件	目標達成
	人身事故 0 件	0 件	目標達成
	自損事故 10 件未満	9 件	目標達成
	無事故継続日数 100 日	111 日	目標達成
令和 2 年度	有責事故 0 件	0 件	目標達成
	人身事故 0 件	0 件	目標達成
	自損事故 10 件未満	15 件	目標未達成
	無事故継続日数 150 日	121 日	目標達成
令和 3 年度	有責事故 0 件	0 件	目標達成
	人身事故 0 件	0 件	目標達成
	自損事故 5 件未満	19 件	目標未達成
	無事故継続日数 100 日	98 日	目標未達成
令和 4 年度	有責事故 0 件	0 件	目標達成
	人身事故 0 件	1 件	目標未達成
	自損事故 5 件未満	13 件	目標未達成
	無事故継続日数 120 日	134 日	目標未達成

年 度	目 標	結 果	達成状況
令和5年度	有責事故 0件	件	
	人身事故 0件	件	
	自損事故 5件未満	件	
	無事故継続日数 150日	日	

小豆島交通株式会社